

## 地域包括ケアネットワーク No.44

### 「北児島ケアネット」設立から一年

北児島医師会 西崎 進

平成27年北児島医師会は「北児島ケアネット」を設立し、12月3日正式に発足しました。基本理念としては「今の崩壊しかけている地域社会を維持するのは行政のみに頼っていてはとても無理なので、医療・介護・行政・福祉の連携で地域の再構築を目指しましょう」ということで、その理念達成のためには医療、介護、行政、福祉（地域）が互いに補完しあう統合システムが必要と考えました。そして、北児島医師会がカバーする岡山市南部の興除・藤田・灘崎と倉敷市郷内地区の4中学校区で、人口51,000人を対象にしています。

「北児島ケアネット」の構成ですが、北児島医師会主催ですので会長と理事はそのまま横滑りとなりました。そして、北児島医師会理事会の議題の中に北児島ケアネットの議題も埋め込み、省力化に努めました。その下に運営委員会があるのですが、そのメンバーの選抜にあたっては縦の軸と横の軸を考えました。縦の軸は急性期→回復期→在宅→急性期の医療軸、横の軸は在宅医療、介護、行政、福祉が互いに補完しあうケア軸です。その縦の軸と横の軸が互いに連携しあって、初めて地域包括ケア＝トータルケアが成し遂げられると考えました。その目的で北児島エリアをカバーする急性期、回復期病院の地域連携室より数名ずつ、各中学校区からは医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー、介護士等で地域医療・介護に積極的な方々を推薦していただき、行政に関しましては岡山市医療推進課にお願いして数名の方に運営委員になっていただき、約50名の運営委員の方々が参加してくださることになりました。福祉関係の委員としましては町内会長、民生委員、愛育委員などの方々を予定していましたが、今まで市内各所でおこなわれた地域包括ケア会議に出席した経験から、医療・介護・行政の方は専門職であるのに対して、福祉関係の方は一般の方であり、専門職の人たちとは基礎知識の量に格段の差があるため、すぐに委員会で専門用語が飛び交う討議に参加していただくには少し無理があると感じ、興味のある福祉関係の方はオブザーバーとして参加していただき、この程度なら大丈夫と感じた方から漸次委員に参加いただくことにしました。「運用規定」も作成しましたが、紙面の都合で割愛しますのでHPをご参照ください。

このようにして発足した「北児島ケアネット」ですが、年4回、3カ月毎の活動をおこなっています。すべて第一木曜で、3月、6月、9月は13:30より30分間の運営会議と14:00より2時間のシンポジウムをおこない、各会テーマを設定し、この地区の特性、資源、サービスについての共通認識を深めていっている最中です。そして12月は2時間の運営委員会を設定し、過去一年間の活動に対する評価、反省と次年度に対する希望、提案の議題で討議をおこない、終了後は短時間の懇親会（忘年会？）としています。

財政的には、岡山市医療推進課のご厚意で会場を提供していただいている以外はすべて北児島医師会員の手弁当でおこなっている会ですので、活動には自ずと制約がありますが、今のところ順調にすべりだしています。

紙面の都合で今回は設立過程の説明になりましたが、現在の活動の記録、将来の方向性などをHPにアップロードしています。興味のある方は「北児島医師会」をWebで検索していただき、その中の「北児島ケアネット」のボタンをクリックしていただければ出てきますのでよろしくお願い致します。